

なれば).....三—五晝夜。

aa. 直ちに任意のパラフィン、或ひはセロイデイン媒滲劑。

B b. アルコホル或ひはアセトン。(固定法の異なるに従

ひ或ひは三〇%より初め或ひは五〇%、.....場合にょ
りては直ちに所謂無水のものに之も素より時間は片の大小にも
よるが特別な場合を除き水洗から九五%以上の強いものまで入
れて大抵三時間前後で充分である、強いものから初めた場合は
一—二時間でよい。昇汞の入つた固定液などの後でそれを除く
爲めに多少長く入れて置く必要のある様な場合は仕方ないが、
要するに出来る丈早く切り上げて)。

bb. 純アニリン。(に移す。時間はアルコホル、アセトン等
によつて脱水された程度と、片の大小によるが、九分通り脱水
終つた小片だつたら二—三時間で充分である。長い方なら都合
によつてたとひ一ヶ年入れて置いても色の變色を意とせぬもの
である限りは少しも差支へない、普通の場合には約二四時間位
を適當として薦めて置く。

bbb. 直に任意のパラフィン或ひはセロイデイン媒滲
劑。(一度アニリンによつて透明にされたものは可成りの大

抄 録

● 蝌斗の腦下垂體除去

蝌斗の三、五—四耗のものより腦下垂體の原基を除去
すれば七日より十日の後に銀色に變化す、之は色素の量

(抄 録) ○ 蝌斗の腦下垂體除去

片であつても非常に速かに他の媒滲劑によつても滲透される。) Kreosot 及び Pyridin の二つもまたアニリン同様之等
「A」「B」二通りの使ひ方に適用する事が出来る。

けれども前者は(Pavlov, W, Zeitschr. wiss. Mikr. 1905.)
其の酸性であり、また「オスミウム」によつて固定した脂
肪をも溶解し去る性質あるが爲めにまた或る種の材料に
は全々使用する事が出来ないしまた仕事に際して其の臭
氣が極めて不快である。Pyridin は神經の方の仕事など
で或る特別な場合には用ゐて利益なこともあるのだが、
之また、其の強いアルカリ性と、價格の遙かに高いこと
の爲めに廣く一般に薦めるわけには行かない。

前記「B」の方法に於しアニリン同様の役を勤め得るも
のにまだ (5) Bergamottol, (6) Cedernöl, (7) Nelkenöl.
等のものがある、けれども今は紙數の關係上、之等は後
段、媒滲劑の部分に譲ることにする。(未完)

の減するに非ずして色素細胞の收縮による、そは此銀色
蝌斗の一—二—四耗に達せるとき此の腦下垂體の中央部
の浸液中に入るれば一五—三〇秒の間に暗色となり普通
の蝌斗と類せるものとなり之を復た水に移せば一—三時
間の後に銀色に變するにて知らる。

(ATWEILL, N. J., '19, Science 48, No. 1254).

(谷津直秀)